

見る

聞く

言う

インドネシアのスマタラ地区に属する、日本の政府開発援助(ODA)によるダム建設の計画が進められているが、ダム建設は地域の住民の権利を侵害し、環境破壊を招き、住民が立ち去る恐れがある。日本政府は、この援助の中止を主張している。



コタパンジャン・ダム建設への援助中止を訴える意見教授(中央)と諏訪勝氏(左)一参院議員会館で

# スマタラ家が危ない!

## 現地住民2人が ODAで直訴へ

2万2千人立ち退き問題のタラハ、コタパンジャン・ダム建設は、スマタラ地区に属する、日本の政府開発援助(ODA)によるダム建設の計画が進められているが、ダム建設は地域の住民の権利を侵害し、環境破壊を招き、住民が立ち去る恐れがある。日本政府は、この援助の中止を主張している。

住民が立ち退かなくてはならないほか、数少ないスマタラ象の保護や歴史的に貴重なムアラ・タクスム教遺跡の保全が問題となっている。この中で市民グループが問、ら民名や住所などは公表され

91  
9.3  
東京